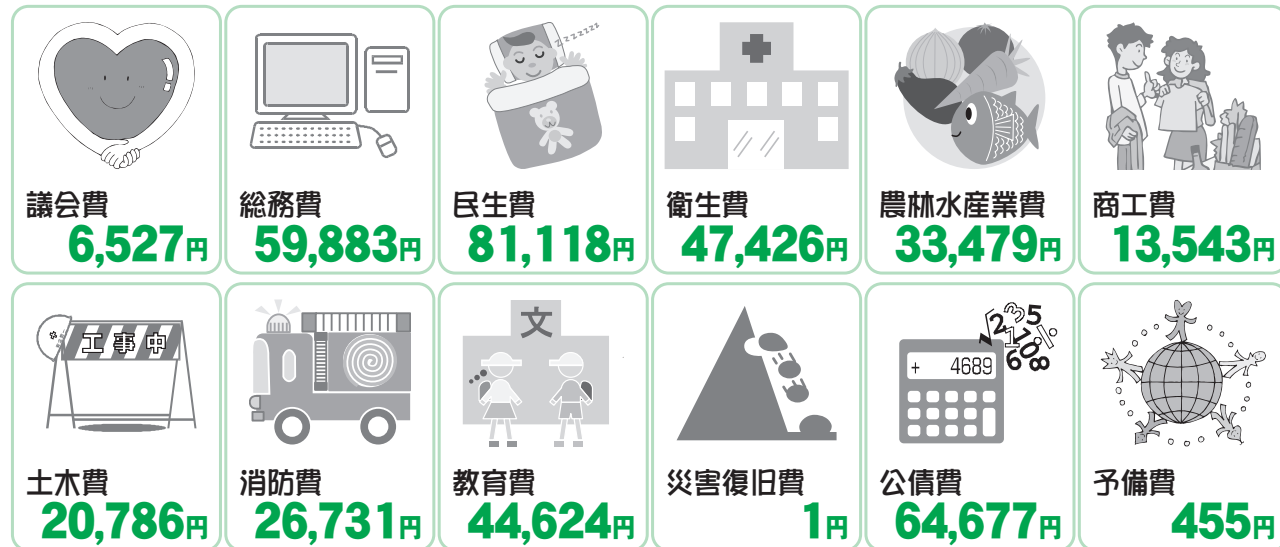


町民一人当たりの税負担額 **70,401円**

町民税 **26,162円** 固定資産税 **37,010円** 軽自動車税 **1,974円** 町たばこ税 **5,255円**

町民一人当たりに使われる額 **399,250円**



【南三陸町の家計簿】

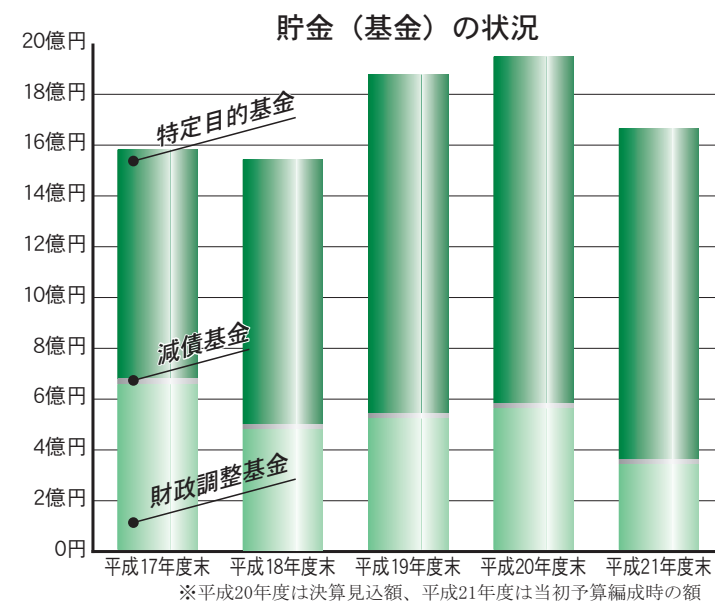
町の予算をより身近に感じていただくために、一般会計予算を家計簿に例えてみました。なお、単位を「千万円」から「万円」（例えば1億円→10万円）に置き換えて表しています。

表のとおり給料や手当、雑収入を合わせると545万円で収入全体の4分の3を賅っていますが、それに対して支出は、合計で720万円となっており、不足が175万円となっています。この不足を補うため、貯金を崩したり、金融機関から借入をしたりしてなんとか生計を立てている状況となっています。

景気回復が足踏み状態で続いており、給料や手当の増加はあまり期待できないので、食費、光熱水費、ローンの返済等の支出を工夫、節約することで、貯金に頼らない家計を目指していきます。



収入		支出	
給料（町税）	127万円	食費（人件費）	188万円
手当（地方交付税など）	345万円	医療費（扶助費）	35万円
パート収入（使用料や手数料、負担金）	18万円	光熱水費・家の維持管理費（物件費）	131万円
雑収入（地方消費税交付金・地方譲与税など）	55万円	保険料や交際費、税金など（補助費等）	109万円
金融機関からの借入（町債）	65万円	ローンの返済（公債費）	117万円
親からの援助（国・県支出金など）	75万円	家の増改築・修理など（普通建設事業費など）	58万円
貯金からの引出（繰入金）	29万円	子供への援助（繰出金や貸付金など）	81万円
前年度の残金（繰越金）	6万円	貯金（積立金）	1万円
合計	720万円	合計	720万円

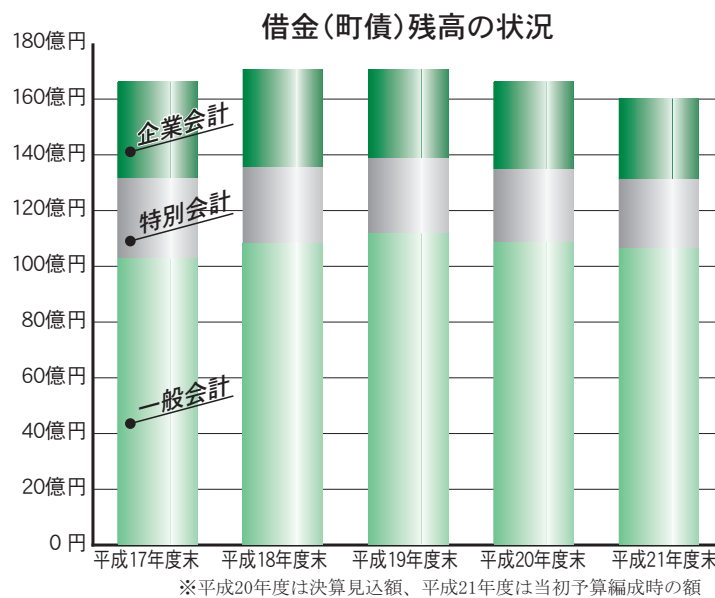


【南三陸町の貯金】

一般会計の平成20年度末の貯金（基金）残高見込額は、財政調整基金、減債基金、特定目的基金を合わせると約19億4,458万円となります。

財政調整基金について、平成20年度末残高見込額は約5億5,325万円で、当町の標準的な金額4億8千万円を上回っています。しかしながら、平成21年度当初予算編成において、やむを得ず2億3千万円取崩し、平成21年度末には約3億2千万円となる見込みですので、標準的な金額まで貯金を戻すよう努力していきます。

財政調整基金…年度間の財源の不均等を調整するための積立金（一般家庭にあてはめると生活資金的な貯金）
 減債基金…町債の償還のための積立金（一般家庭にあてはめるとローンの繰上償還などのための貯金）
 特定目的基金…特定の目的のための資金積立金（一般家庭にあてはめると家の建築、老後の生活など目的をもった貯金）



【南三陸町の借金】

町が、学校や道路、漁港など長い期間使用する公共施設を建設するときにその財源として町債発行という形で借金をしています。これは、単に一時期にお金がかかりそのお金がないからという理由だけではなく、建設にかかるお金を分割払いにして、これから利用する町民も世代間にわたって公平に負担しようという考えからです。

なお、平成20年度末の借金（町債）残高見込額は、全会計で、約165億8,592万円となりました。一般会計では、平成20年度末残高見込額は約109億7,853万円となっています。今後は、大規模事業が一段落したことにより、全会計で減少傾向になると予想されます。

【特別会計予算】

総額43億8,930万円となり、前年度と比べると1億3,133万4千円、2.9パーセントの減となっています。老人保健事業制度が後期高齢者医療制度に移行したため、大幅な減額となりました。介護保険特別会計においては、給付費の増加に伴い、1億2,730万円、10.7パーセントの増となりました。

【企業会計予算】

総額（収益的支出と資本的支出の合計）25億3,676万3千円となり、前年度と比べると1億1,970万6千円、5.0パーセントの増となっています。水道事業会計では、本年度から業務の一部民間委託を開始し、効率的な事業運営とサービスの向上に取り組み、これまでも増して健全経営に努めます。また、病院事業会計については、経営の効率化、再編・ネットワーク化及び経営形態の見直しの視点から策定した公立志津川病院改革プランに沿って、引き続き経営の健全化に努めます。

会計区分	21年度当初予算	対前年度比	
国民健康保険特別会計	26億2,000万円	0.8%	
老人保健特別会計	480万円	▲98.3%	
後期高齢者医療特別会計	1億5,328万円	▲4.6%	
介護保険特別会計	13億1,500万円	10.7%	
居宅介護支援事業特別会計	5,347万円	▲3.0%	
市場事業特別会計	2,550万円	4.5%	
漁業集落排水事業特別会計	1,930万円	▲0.5%	
公共下水道事業特別会計	1億9,795万円	3.9%	
計	43億8,930万円	▲2.9%	
水道事業会計	収益的収入	3億8,830万7千円 ▲2.3%	
	収益的支出	3億6,150万9千円 5.2%	
	資本的収入	6,017万1千円 ▲31.0%	
	資本的支出	2億7,418万5千円 2.5%	
	病院事業会計	収益的収入	17億174万2千円 4.0%
		収益的支出	17億174万2千円 4.0%
資本的収入		1億5,266万9千円 29.4%	
資本的支出		1億5,266万9千円 29.4%	
訪問介護ステーション事業会計	収益的収入	4,665万8千円 ▲9.6%	
	収益的支出	4,665万8千円 ▲9.6%	
(支出) 計	25億3,676万3千円	5.0%	